

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和7年第32週(8月4日～8月10日)及び7月の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内 (平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	30週	31週	32週	32週	32週
インフルエンザ	0.33	0	0.33	0.41	0.30
新型コロナウイルス感染症	6.33	12.33	21.00	7.67	6.13
RSウイルス感染症	1.00	0.50	0	0.52	0.86
咽頭結膜熱	0	1.50	●4.00	0.58	0.42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	3.50	2.50	2.35	1.74
感染性胃腸炎	2.00	8.00	8.50	2.81	4.59
水痘	0.50	0	▲1.00	0.23	0.26
手足口病	0.50	1.00	0	0.13	0.58
伝染性紅斑	0.50	0	0	●2.19	●2.07
突発性発疹	2.00	0	2.00	0.45	0.34
ヘルパンギーナ	●3.00	●3.00	●2.00	0.65	1.69
流行性耳下腺炎	0	0	0	0.03	0.05
急性出血性結膜炎				0.29	0.02
流行性角結膜炎				1.71	0.86
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.02
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.05
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0.75	1.23
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0.00
急性呼吸器感染症(ARI)	37.00	49.67	61.00	59.10	52.49

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】 新型コロナウイルス感染症に注意しましょう。

新型コロナウイルス感染症の長崎県における第32週の報告数は391人で、定点当たり報告数は「7.67」で、8週続けて増加しました。地区別では、県北地区(21.00)、上五島地区(9.67)、佐世保地区(8.57)が多くなっています。年代別にみると、10歳未満(21.2%)、60代(12.0%)、50代(11.5%)の順に多くなっています。
今後も場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【トピックス】 感染性胃腸炎に注意しましょう。

感染性胃腸炎の長崎県における第32週の報告数は87人で、定点当たり報告数は「2.81」でした。地区別にみると、県北地区(8.50)、佐世保地区(5.00)、県央地区(5.00)は、他の地区より多くなっています。
本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

【トピックス】 伝染性紅斑の流行警報が発表されました。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症で、小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。約10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん(紅斑)が現れます。続いて、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がりますが、これらの発しんは1週間程度で消失し、ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します。一方で、これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性がありますので、注意が必要です。

2025年第32週の定点当たり報告数は「2.19」で、現在の調査方法になった1999年以降で初めて警報レベル開始基準値「2.0」を超えました。

感染経路は、飛沫感染や接触感染で、かぜ症状のある時期にウイルスの排出が最も多くなるといわれています。治療薬やワクチンがないため、感染予防が重要です。特に妊娠中の方やそのご家族ではかぜ症状がある方との接触をできる限り避け、手洗いやマスクの適切な着用など感染予防に努めましょう。